学校番号	305

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校地学基礎」　（数研出版）						
副教材等	改訂版　地学基礎サポートノート　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学基礎の学習内容は、壮大な宇宙や地球の誕生から生命の進化等、スケールが大きく、知的好奇心がかりたてられるテーマが多い。また、天気や地震など身近に存在する災害に関わるテーマもあり、中学校での学習内容はもちろんのこと、「生物基礎」や「化学基礎」で学んだ内容と関連付けながら、身の周りの科学に触れ、一生を通じた科学への関心に繋げてもらいたい。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙の誕生から現在の地球に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえる。地球や地球を取り巻く環境に対して目的意識をもって観察・実験を行い、地学的に探究する能力と態度を育てる。地学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、地学的な見方や考え方を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、野外観察、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得するとともに、報告書の作成や発表を通して、何が分かるようになったかを表現することができる。	地球や地球を取り巻く環境に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度が養われている。 自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	活動する地球	地球の構造 プレートの運動 地震 火山	a:地球の形や大きさ、内部の構造について理解している。また、それによって起こる地震や火山の活動を理解している。 b:地球の構造によって起こる地震や火山の活動、それらの対策について考えることができる。 c:地球の構造によって起こる地震や火山の活動について主体的に学び、さらなる課題に取り組むことができる。	定期考査 小テスト 観察・実験	定期考査 観察・実験	プリント提出 レポート提出
	移り変わる地球	地層の形成 古生物の変遷と地球環境	a:地層の構造、地球の歴史について理解している。また、環境の変化の中で発生した生物の進化を理解している。 b:地層の構造、地球の歴史、生物の進化について考えることができる。 c:地層の構造、地球の歴史、生物の進化について主体的に学び、さらなる課題に取り組むことができる。	定期考査 小テスト 観察・実験	定期考査 観察・実験	プリント提出 レポート提出
二学期	大気と海洋	地球の熱収支 大気と海水の運動	a:地球の大気の構造、大気と海水の循環について理解している。 b:地球の大気の構造、大気と海水の循環について考えることができる。 c:地球の大気の構造、大気と海水の循環について主体的に学び、さらなる課題に取り組むことができる。	定期考査 小テスト 観察・実験	定期考査 観察・実験	プリント提出 レポート提出
	地球の環境	地球の環境と自然環境	a:地球の環境、気候変動について理解している。 b:地球の環境、気候変動について考えることができる。 c:地球の環境、気候変動について主体的に学び、さらなる課題に取り組むことができる。	定期考査 小テスト 観察・実験	定期考査 観察・実験	プリント提出 レポート提出
三学期	太陽系と宇宙	太陽系と太陽 宇宙の誕生	a:宇宙の誕生、構造、宇宙に存在する様々な天体について理解している。 b:宇宙の誕生、構造、宇宙に存在する様々な天体について考えることができる。 c:宇宙の誕生、構造、宇宙に存在する様々な天体について主体的に学び、さらなる課題に取り組むことができる。	定期考査 小テスト 観察・実験	定期考査 観察・実験	プリント提出 レポート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度